

保育士エコすごろく作り

山科 園児向け環境の教材に

太陽光発電の普及などに取り組みNPO法人きょうとグリーンフアンド(京都市下京区)が、環境問題を学ぶ「エコすごろく」作りを進

めている。保育園での遊びを通して幼児にも環境に配慮した生活スタイルを身につけてもらう。と、保育士向けに作り方を教えてい



環境に優しい行動でゴールにたどり着くエコすごろくを作る保育士(6月26日、京都市山科区・陵ケ岡保育園)

る。

6月26日、山科区の陵ケ岡保育園で、保育士約25人がワークショップに参加した。地球

温暖化などの基礎知識を学んだあと、すごろく作りに取り組んだ。

「使わない部屋の電気は消す」「マイバッグを使う」などのコマで「進む」、「歯磨き

で水を流しっぱなし」は「戻る」とした。

保育士たちは子どもに分かりやすい表現や絵を工夫した。下書きをもとに、1・2・3・4

方のテント地に印刷し、繰り返し遊べるシートを作る予定だ。

NPO法人の大西啓子事務局長は「作る人も遊ぶ人も、日常でどういう行動がエコか判断できる人になってほしい」と話した。ワー

クショップは7月31日と8月21日にも予定し

ている。問い合わせは
☎075(352)9150。
(伊藤恵)